

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

従業員回答9名/9名 (回答率100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			適切である
	②	職員の配置数は適切であるか	6	3		産休などもあり新たにスタッフ募集中
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	2	階段に手すりあり。車イス・医ケア児対応ないため、現状で問題なし。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2		朝ミーティングや月1回のケースカンファなどを行っている。非常勤スタッフに対して配慮も必要。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			送迎時に保護者からの意向があればすぐに共有し、話し合いの時間を設けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6		第三者評価人に依頼し、実現するよう努力する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			積極的に勤務能力に応じた研修の機会を取っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			日々のミーティング等から児の状況を把握し客観的に分析している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3		リタリコアアセスメントツールを活用している。非常勤スタッフにも周知する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			常勤児童指導員、音楽療法士が中心となり行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			活動を振り返り、次の目標を計画し実行している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			その日の利用者の顔ぶれによって細やかな支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			近々の精神・健康状態を配慮しつつ、個別と集団に振り分け計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎朝行っている。前日休みだった職員に対しても、その日の活動内容を知らせている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			個別日誌を情報共有しながら作成している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			疑問点があれば、その時に共有し解決している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2		定期的にサービス計画や活動内容の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	3		ガイドライン総則の非常勤への周知が必要

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		9		会議が開催されるならばふさわしい者が参画すべき。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			学校の情報は保護者よりいただいている。連絡はお迎え時に先生とお話しさせていただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		9		対象となる見なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			事業所や通われている保育園等と電話による情報共有の努力をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	3	対象となる見なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2		センター紹介の場合、助言を受けているが研修を受講したい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4		コロナ禍が落ち着いたら計画したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	4		大師協議会へ参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			送迎時に細かく児の様子を保護者にお話しするようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4		管理者が研修を受講している最中である。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時には、管理者・児童発達支援管理責任者が同席し説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			送迎時や連絡帳などでのご相談は、スタッフで共有し保護者と児に対しての助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	3	コロナ禍が落ち着いたら行いたい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			評価表を元に対応していく。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3		活動予定表を発行。SNSも検討中。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	9			公共交通機関での個人名、ファイルの置き場、連絡帳入れちがい等に注意している。
	㊀	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			配慮している。

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	3		協議会員を招待したり、希望があれば見学をいただいている。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		保護者への周知が不足しているので、HPでご案内する。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			年2回の訓練と、動画で危機管理能力の向上を促している。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			定期的に委員会を開催し、委員長が研修を行っている。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			組織的に決定し、可能性のある児に対してサービス計画に記載したり面談でお話ししている。
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1		軽い疑い程度であっても、必要であれば保護者を経由し入手する。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			小さな事例でも記入し共有している。